

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	心血管疾患患者における急性期リハビリテーション評価の妥当性 ～前向き観察研究～ (B18-083)
当院の研究責任者 (所属・職位)	リハビリテーション部・係長 濱崎 伸明
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	近年、超急性期のリハビリテーションの機能予後改善に対する有効性が明らかとなってきたことから、リハビリテーション医療がより急性期から展開されるようになってきました。心血管疾患患者さんにおいても、集中治療室から病態の安定した患者に対して積極的にリハビリテーションが行われています。しかし、急性期に得られるリハビリテーション指標と、患者さんの治療経過や退院後の健康状態との関係は明らかではなく、リハビリテーションのもたらす効果も十分に検討されていません。 この研究では急性期リハビリテーションによって得られる指標が、退院後の運動機能や日常生活動作、QOL、予後に与える影響について、前向きに調査することを目的としています。
調査データ 該当期間	2018年9月1日から2024年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2018年9月1日から2029年12月31日の間に、当院で心臓リハビリテーションを施行した20歳以上の方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2018年9月1日から2024年12月31日までの電子カルテに記載のあるカルテ情報(診断名、年齢、性別、臨床症状、治療方法、検査データ)およびリハビリテーション指標(運動・認知機能、運動耐容能、QOL、経過など)
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 本研究の遂行のための費用は、病院リハビリテーション部助成研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

	<p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：042-778-8413 所属・職位：リハビリテーション部・係長 担当者：濱崎 伸明（ハマザキ ノブアキ） 電 話： 042-778-8413</p>
備 考	